

鎌倉第1037号

令和6年(2024年)7月29日

鎌倉市議会議長

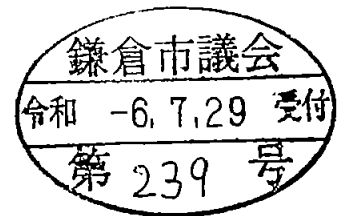
池田 実 様

鎌倉市長 松 尾



文書質問への回答について

標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。



事務担当

総務課総務担当 (内線2243)

議会受付番号	文書質問第3号
質問者	長嶋 竜弘 議員
答弁する者	市長 (まちづくり計画部都市計画課)

文書質問に対する答弁書

鎌倉市議会基本条例第7条第3項の規定に基づく文書質問第3号の質問について、次のとおり答弁いたします。

1 質問の内容

文書質問第2号答弁の内容について回答になっていないので番号別に再質問する。

- ①答弁の混乱防止策では混乱防止になっていない。
- ②様々な方法を研究・検討とは何か？構内踏切の復活以外に無いのでは無いか？
- ⑤様々な方法を研究・検討とは何か？構内踏切の復活以外に無いのでは無いか？
- ⑥その後も改善されていない、何時まで検討しているのか？具体的な対応実施を求める。
- ⑦勘違いも甚だしい。踏切の動作が終了した後の問題を言っている。普通の平日でも団体客の往来増加で混雑は激しくGWなどだけでは無い。構内踏切を廃止してから激増したから言っている。現場の把握をきちんとして反省して対処するべきではないのか？
- ⑧いつまで検討するのか？まずは構内踏切の復活等の対策を実施していただきたい。
- ⑨何を言っているのか？踏切脇を渡るケースが構内踏切を廃止してから激増したから言っている。現場の把握をきちんとして反省して対処するべきではないのか？
- ⑩何を言っているのか？踏切脇を渡るケースが構内踏切を廃止してから激増したから言っている。現場の把握をきちんとして反省して対処するべきではないのか？
- ⑪何を言っているのか？踏切脇を渡るケースが構内踏切を廃止してから激増したから言っている。現場の把握をきちんとして反省して対処するべきではないのか？
- ⑫県道全体で発生している？何を言っているのか？構内踏切を廃止してから長谷駅近隣で激増したから言っている。構内踏切廃止によって起こっている事態である事を認識して、反省して対処するべきではないのか？
- ⑬ICカード率は長谷駅の数字なのか？だとしても20%は券売機で購入されている訳である。実際に遠足などの子ども達、団体客が券売機に行列をつくっている。現場の把握ぐらいきちんとすべきである。券売機2台では足りない。
- ⑭江ノ電株式会社は構内踏切廃止によって起こっている事態をどのように認識しているのか？現状把握をして、反省して、真摯に取り組んで頂く必要があると考えるが如何か？

2 質問の理由

江ノ電株式会社の質問主意書に対する不誠実な回答は驚くべき内容である。近隣住民の利用者として、議員として許せない態度であるので、近隣住民、駅利用者、通行車の安全を守る為に、改善がはかられるまで徹底して対処する必要があるので再度質問する。

3 答弁を求めるもの

市長

4 答弁

質問内容で江ノ島電鉄株式会社（以下「江ノ電」という。）に関するものは、江ノ電からの回答を記載しています。

① 答弁の混乱防止策では混乱防止になっていない。

江ノ電からは、「通路はスロープと階段で分かれておりますが、改札機の設置位置を変えて乗車と降車の流れを作ることで極力混乱しないよう努めています。」との回答がありました。

②⑤ 様々な方法を研究・検討とは何か？構内踏切の復活以外に無いのでは無いか？

構内踏切につきましては、文書質問第1号において回答したとおり、江ノ電から元には戻さない旨の意向が示されています。現状と致しましては、文書質問第2号においてご回答したとおり、江ノ電長谷駅改札（藤沢方面行き）から県道32号（藤沢鎌倉）までの市道は、電車の到着等により一時的に通行量が集中した場合、歩行環境への影響が生じています。市としましては、観光客の分散、平準化に向けた取組みなどを進め、出来るだけ歩行者等の通行がスムーズになるよう、引き続き研究・検討してまいります。

⑥ その後も改善されていない、何時まで検討しているのか？具体的な対応実施を求める。

文書質問第2号において御指摘がありました店舗に関する入店待ちの行列については、職員が現地に赴き複数回状況を調査しておりますが、御指摘の事象を確認するには至っていないため、引き続き状況の把握に努めるとともに、入店待ちの行列によって明らかに通行に支障が生じている場合には、当該店舗に注意喚起を行ってまいります。

⑦ 勘違いも甚だしい。踏切の動作が終了した後の問題を言っている。普通の平日でも団体客の往来増加で混雑は激しくGWなどだけでは無い。構内踏切を廃止してから激増したから言っている。現場の把握をきちんとして反省して対処するべきではないのか？

江ノ電からは、「長谷駅の乗降客数は、時期、曜日、時間帯、天候などによって大きく変動があり、混雑時には踏切動作終了後、一時的に通行しにくい状態となることは承知しており、弊社としましては、公道上ではあるものの、ゴールデンウィークやあじさいの時期など混雑が予想される日には踏切道に対し自主的に警備員を配置し誘導、ご案内を行っております。今後も鉄道の安全輸送を目的とした警備員の配置を実行してまいります。」との回答がありました。

⑧ いつまで検討するのか？まずは構内踏切の復活等の対策を実施していただきたい。

江ノ電からは、⑦と同様の回答がありました。

⑨⑩⑪ 何を言っているのか？踏切脇を渡るケースが構内踏切を廃止してから激増したから言っている。現場の把握をきちんとして反省して対処するべきではないのか？

江ノ電からは、⑦と同様の回答がありました。

⑫ 県道全体で発生している？何を言っているのか？構内踏切を廃止してから長谷駅近隣で激増したから言っている。構内踏切廃止によって起こっている事態である事を認識して、反省して対処するべきではないのか？

江ノ電からは、⑦と同様の回答がありました。

⑬ ICカード率は長谷駅の数字なのか？だとしても20%は券売機で購入されている訳である。実際に遠足などの子ども達、団体客が券売機に行列をつくっている。現場の把握ぐらいきち

んとするべきである。券売機2台では足りない。

江ノ電からは、「遠足や修学旅行の子供たちが行列を作っていることに関しましては、学校側が教育の一環として生徒に現金を持たせて一人ひとり購入させていることがほとんどです。当然、不慣れであるため購入に時間がかかり行列ができることが多いえに、前述の理由から、駅係員が窓口でも購入可能である旨、ご案内しても生徒たちは並んだままという状況になっております。そのため、券売機が混雑しているときは、窓口でも購入が可能であることを駅係員が案内することで、混雑緩和に努めております。」との回答がありました。

- ⑭ 江ノ電株式会社は構内踏切廃止によって起こっている事態をどのように認識しているのか？現状把握をして、反省して、真摯に取り組んで頂く必要があると考えるが如何か？

江ノ電からは「構内踏切廃止前は、1箇所改札口に藤沢行き列車と鎌倉行き列車の両方の旅客が集中しておりました。そのため藤沢行き列車出発時においても、改札口へ向かう旅客が構内踏切を渡り切れずに踏切内に取り残される事象や、遮断桿をくぐって無理な横断をするといった行為から、列車への接触が懸念され危険な状態でした。また、改札口を通過せずに踏切から線路内を通過して構内踏切へ入ってしまう旅客がいたため、対策として侵入防止板（トゲトゲの板）を設置しましたが、完全に排除することはできませんでした。これらの危険な状態を解消するために構内踏切を廃止し、行先別改札口を新たに設けることで旅客混雑の分散化を図ることが可能となり、旅客の安全確保及び鉄道の安定輸送に結びついております。公道上ではあるものの、ゴールデンウィークやあじさいの時期など混雑が予想される日には踏切道に対し自主的に警備員を配置し誘導、ご案内を行っております。今後も鉄道の安全輸送を目的とした警備員の配置を実行してまいります。」との回答がありました。

御質問いただいた内容については、江ノ電の所管となるものも多く含まれておりますが、歩行者・鉄道利用者等の安全の確保は最重要課題であることから、市としても継続的に状況を確認するとともに、引き続き江ノ電と協議を行ってまいります。